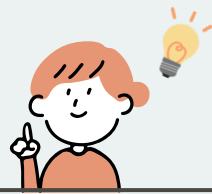




補助金活用事例



＼自治会×行政×日本語教室／

01

「地域で守る防犯力向上講座」

事業内容

行政による防犯出前講座を実施し、特殊詐欺の手口や対処法、護身術の知識を実践的に学ぶ講座を開催。日本語教室との連携により、外国人住民にも参加してもらい、地域全体の防犯意識の普及を図る。

見込まれる効果

誰にとってもわかりやすい形で行うことで、参加者と地域住民との交流が深まり、多文化共生や相互理解にもつながる。また、護身術などグループで体を動かす時間を設けることで、健康づくりや会話のきっかけが生まれる。



＼自治会×自治会×社会福祉法人／

02

「世代をつなぐスキル交換事業」

事業内容

高齢者施設等と連携し、子どもや地域住民が参加する交流会を開催。子どもは昔遊びや知恵を高齢者から学び、高齢者はスマホの使い方等を子どもから学ぶなど、世代間で知識や文化を共有する機会をつくる。

見込まれる効果

世代間で知識や文化、経験を分かち合うことで相互理解が深まる。また、高齢者・子ども双方にとって学びや気づきのある交流となり、継続的な関係づくりにつながる。





補助金活用事例



＼自治会×こども食堂／

03

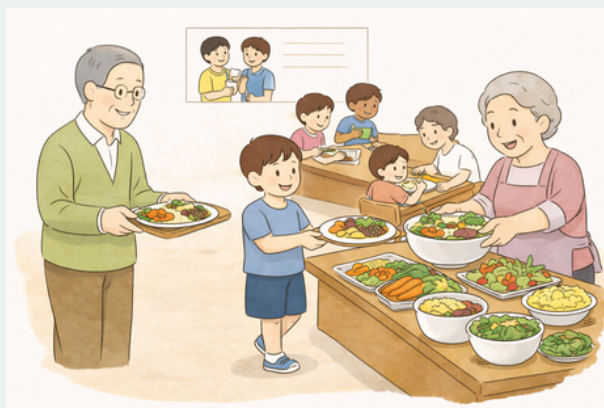
「みんなで囲む地域ごはん事業」

事業内容

地域公民館等で子ども食堂を開催し、自治会員や地域の子どもたちに調理・配膳を手伝ってもらう。地域の農産物を活用し、会食形式でみんなで一緒に食事をする機会をつくる。

見込まれる効果

子どもから高齢者まで多世代が同じ場で食事を共にすることで、自然な交流関係が形成される。それにより、地域の見守り機能の向上や孤立の防止にもつながる。



＼自治会×農園×社会福祉法人×JA／

04

「地域のつながり強化事業」

事業内容

子どもからお年寄りまで、町内会を始めとした地域の人が地元産の農作物による「食」を通して集える場所を提供するため、食堂を開催。時期によっては芋ほり体験も実施。

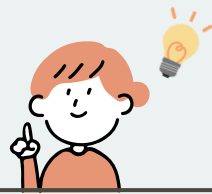
見込まれる効果

どの世代にも身近なテーマである「食」を通して、様々な世代との交流や、情報交換を行えるネットワークの構築が期待できる。





補助金活用事例



＼自治会×NPO団体／

05

「珈琲の淹れ方講座」

事業内容

地域活動の担い手不足といった課題に直面する町内自治会と、住民交流を支援するNPO団体が連携し、地域の若者や親世代を巻き込みながら本や珈琲を通じて地域のつながりを掘り起こすことを目的に、「珈琲の淹れ方講座」を実施。

見込まれる効果

若者の参加をきっかけに、親世代にも交流の輪が広まり、地域内の多世代間交流ができる。

また、継続的なイベントと発展させることで、地域住民の交流や自治会活動参加へのきっかけづくりにつながる。



＼自治会×ボランティア団体×NPO団体／

06

「町内会ファミリーマルシェ」

事業内容

町内会内の交流と町内会加入促進を目的として実施。町内会主催により、屋台およびキッチンカーの出店を行い、「食」とおして交流を深める場の提供を行う。

見込まれる効果

誰でも気軽に参加できるイベントとすることで、町内会参加への関心が高まる。また、隣接自治会と連携して実施することで広域的な交流の広がりも見込まれる。

